

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	2022/2/28	従業員・家族共有日 (原則策定・改定日から1ヶ月以内)	2022/3/31	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2023/3/31
想定リスク	自然災害(台風、地震) 直営店(●)は●川の浸水(0.5m~3m)が想定される				

1. 基本方針

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	お客様、従業員とその家族の命、生活を守る。
2	観光いちご園(●店と●店)、直営店(●)におけるサービス継続の責任を果たす。
3	自社の経営を維持する。

2. 重要業務と目標復旧時間

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	いちごの栽培、収穫、商品加工、店舗運営
目標復旧時間	直ちに(48時間以内)

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	灌水、施肥、温度管理、加工品の冷凍保存、店舗運営ができない	今後自家発電機(軽油)の導入予定
ガス	ボイラーはプロパンを使用しているため影響なし	
水道(農業用水含む)	灌水ができない	井戸水の利用
情報通信	取引先に連絡がとれない	携帯電話、インターネット
交通	観光いちご園、直営店の営業ができない、加工商品の資材が入荷できない	観光いちご園、直営店休業、資材は備蓄の利用、予め代替ルートを調整
ほ場等	ハウスに被害が出る	収穫できる株を残すように対処
その他		

4. 事前対策の実施状況

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	携帯電話(LINE) 連絡体制 社長から全員に安否確認連絡
	避難場所	●学校
	欠員時の対応	従業員との協力体制ができています。 正社員●名、パート●名
	その他	
モノ	設備使用不可時の対応	今後非常用電源の導入予定(特にスイーツ等加工商品の冷凍庫、冷蔵庫)
	調達支障時の対応	種苗、肥料、農薬については常時一作分のストックがある状態しておく
	その他	
カネ	手元資金	数ヶ月分の運転資金を常に保有している
	その他	備考
セーフティネット	保険加入	収入保険、火災共済、損保保険に加入
	その他	備考
情報	重要情報保管場所	パソコンのデータを定期的にバックアップ
	IC等使用不可時の対応	バックアップデータを●にて管理
	その他	
地域連携		

5. 緊急時の体制

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
社長	専務

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生~24時間以内)

○状況確認

確認対象	担当者
役員・従業員 家族を含めた安否確認	社長
建物・設備 ITを含む状況	社長
その他事業資源 肥料・飼料・農薬等の在庫	社長
取引先 状況確認	社長
インフラ 電気・ガス・水道・交通等の状況	社長
その他	

○備蓄品の状況

救急箱	2セット	その他:簡易トイレ	20セット
飲料水	2Lx20本	その他:懐中電灯	5個
食料	従業員x7日分	その他:毛布	5枚
ヘルメット	2個	その他:	

○出勤・帰宅ルール

状況	原則ルール
出勤時	【原則】事務所内待機
在宅時	【原則】自宅待機(極力連絡がとれる状態に)
その他	【原則】一番近くの安全な場所で待機

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後~)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順	担当者
①現状把握(発生~36時間以内) ・農業用ハウス及びいちごの被害確認 ・農業機械の被害確認 ・対応可能従業員の確認 ・観光いちご園設備、直営店の被害確認 ・冷凍庫、冷蔵庫内の商品確認	責任者:社長
②作業準備(発生~42時間以内) ・農業用ハウスの資材確保、復旧体制構築 ・農業機械の修理準備 ・従業員への指示	責任者:栽培事業責任者
③収穫、加工作業(発生~48時間以内) ・農業用ハウスの復旧(ハウス被災時) ・収穫状況に応じた加工対応方針決め ・収穫、加工作業、店舗運営の実施	責任者:専務

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。